

療育支援プログラム

事業所名

ぷらうらんどkouminkanひだか放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

令和8年

4

月

1

日

| | | | | | | | | |
|-----------|-------------|--|-----|---------|-----|--|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | ぷらうらんどが大切にしているのは、うまれて良かったと心の底から思えることです。ぷらうらんどは、お子様ひとり一人の個別アセスメントによる専門性の高い療育で発達を保障していきます。 | | | | | | |
| 支援方針 | | ご家族や相談支援、学校との連携を密にし、お子様の成長を支えていきます。ご家族にはお子様の発達における日常での関わり方のアドバイスを行いながら、最適な支援を進めていきます。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 10時 | 分から | 18時 | 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康状態の維持・改善、生活のリズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得の支援をします。（①基本的な生活リズムや身辺自立を獲得していきます。生活リズムや身辺自立の獲得が難しい場合は、宿泊体験等を通して自立活動に取り組んでいきます。②見通しを持って、活動・行動の切り替えがスムーズにできるようになります。） | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 感覚調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高めます。（体験活動を通して①個々の感覚特性を理解し、日常生活場面での困難さが軽減できるようにしていきます。②個々の段階に合わせて運動機能の向上を図っていきます。） | | | | | | |
| | 認知・行動 | 認知機能の向上や適切な行動の獲得の支援をします。（体験活動を通して①手指の巧緻性を高める事②思考する事や試行錯誤して取り組む事③認知や偏りを理解し、こだわりが緩和する事ができるようにしていきます。＜個別対応もしていきます。＞） | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 言語能力の向上やコミュニケーションスキルへの支援をします。（①場面に合わせてソーシャルスキルを伝え、個々の成功体験に繋げていきます。②場面を想定して環境設定し、体験する場を作っていきます。③非言語のコミュニケーションとして、ツールやジェスチャーなどでコミュニケーションを取る方法を伝えるようにし、生活場面で使うことができるようにしていきます。） | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | 他者との関わりの中での社会性の発達と集団活動や社会参加の支援をします。（体験活動を通して①集団のルールを知りルールを守ることの大切さを知っていきます。②集団の中で感情をコントロールする事ができるようになります。③他人と関わることの楽しさを経験してもらいます。④地域の方と一緒に活動に参加することを楽しみます。） | | | | | | |
| 家族支援 | | ○愛着の安定 ○家族（兄弟含む）からの相談に対する適正な助言（アドバイス） ○障害、発達の特性に配慮した家庭環境の整備助言 | | 移行支援 | | ○放課後教室等への移行支援 ○ライフステージを見据えた将来的な移行に向けた準備 ○放課後教室等と並行利用している場合における並行利用先との連携 ○地域住民との交流・行事等 | | |
| 地域支援・地域連携 | | ○学校、相談支援、医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組 | | 職員の質の向上 | | ○事業所内研修の実施 ○療育内容、制度、5領域等に係る確認と研修 | | |
| 主な行事等 | | ○地域との交流連携行事だけでなく季節に合わせた行事等を行う。（和太鼓演奏、餅つき、木工、七夕まつり、そうめん流し、泥遊び、夏の小川活用水遊び、米つくりと収穫、芋植え、芋ほり、ピザ焼き・宿泊体験・羽釜食堂）など ○ぷらうらんどフェスタ参加（創立記念日事業） | | | | | | |